

令和4年度 総合的な学習の時間について

1 ねらい

- (1) 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断してよりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
- (2) 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探求活動に主体的、創造的に取り組み、自己の生き方を考えることができるようにする。
- (3) 3年間を通して、自分を取り巻く環境や人とよりよく共に生きるための、自己の生き方を考えることができるようにする。

2 テーマ

学校テーマ

「仲間と学び合い、互いを認め合う」 ～人・自然・社会との関わりを通して～

※ 学年テーマは、学年の実態に合わせて学年テーマを設定する。

3 方針・形式

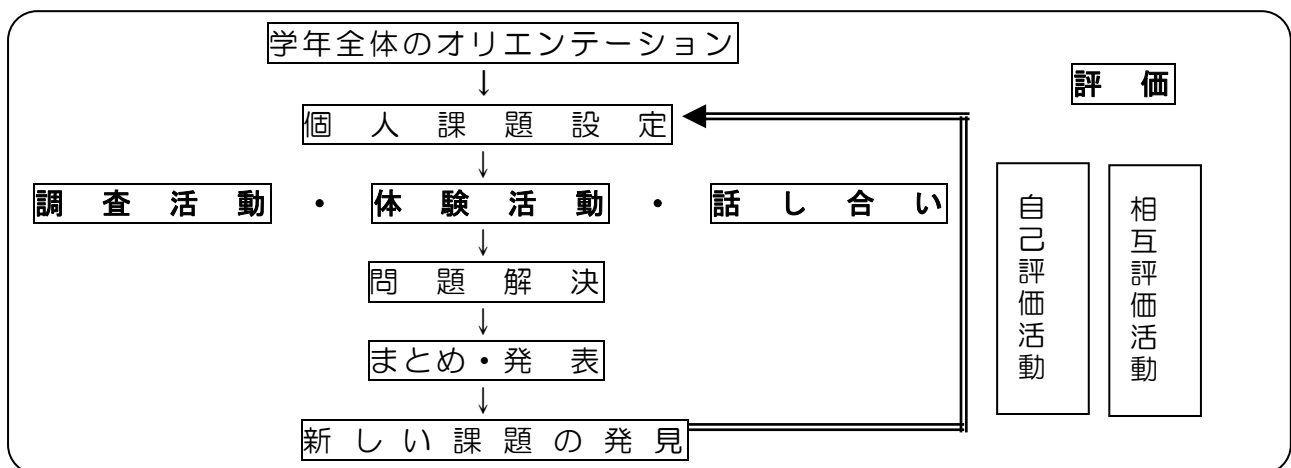
- (1) ねらいへの迫り方や活動内容などを各学年が考えて、年間計画を立てて取り組む。
- (2) 学級、学年の単位で活動して、体験学習や課題解決学習を積極的に取り入れる。
- (3) どの学年も、年に一度は学習成果を発表する。
- (4) 各学年の階をその学年の活動場所とするが、必要に応じてコンピュータ室や図書室などの特別活動室で活動を行う。調整は、学年の「総合担当者」が相談して行う。
- (5) ポートフォリオによって、学習の記録を蓄積させ、次へのステップとさせる。
- (6) テーマに沿った学習を基本とするが、学年のねらいに応じて、学習を進める上で必要だと思われるスキル学習などを行ってもよい。

4 評価

- (1) ポートフォリオによって活動を進め、定期的に点検して評価を行う。
- (2) 生徒の自己評価や他者評価などを適宜行い、評価に利用する。
- (3) 学年末に、特に際だった長所を文章で表現する。

※ 学年末に、講座担当の職員が評価したもの(上記の(3)項)を通知表に転記する。

「総合的な学習の時間」基本の流れ



評価について（評価の観点）

評価の観点	内容
課題を設定する能力	自ら課題を見付け、課題を設定する能力
情報を収集する能力	設定した課題を解決するために必要な情報を取り出したり、収集したりする能力
情報を整理・分析する能力	収集した情報を、種類ごとに整理したり、多面的・多角的な視点で分析したりする能力
まとめ・表現する能力	整理・分析した情報を他人に伝えたり、自分自身の考えとしてまとめたりする能力

【全学年共通の確認事項】

各学年での指導で用いた教材・資料等を継続的・発展的に活用し、より効果的な指導ができるように、各学年間での連絡・調整、引き継ぎを密にしていく。